

国民大運動実行委員会

第090号
2023年
6月14日

「軍事費を削って、暮らしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～ 第211 通常国会 安保破棄中実委・中央社保協・国民大運動 共催 6.14 定例会国会行動 ～

平和、いのち、暮らし、地域を壊す戦争準備の大軍拡・大增税 NO!

軍拡財源法案は必ず廃案！ 最後までたたかいぬこう！



会期末まであと1週間の6月14日、三者共催による最後の定例会国会行動は、農民連の藤原麻子事務局長による司会のもと、軍拡財源法案の採決強行は許さないと、衆議院会館前には150人が参加しました。数々の悪法がまともな審議もなく数の力で強行されるなか、今国会最大の重要対決法案である軍拡財源法案は、明日15日の委員会での採決をめくり、与野党の激しい攻防となっています。朝からの雨もあがった梅雨空のもと、参加者は軍拡財源法案いまが正念場、強行採決を許さ

ず必ず廃案までたたかいぬこうと、全日本民医連の宮澤洋子常駐理事によるコールで国会にむけて大きく声をあげました。当日は、埼玉デー、神奈川デーの国会行動、東京土建による議員要請、また、夜には国会正門前で「STOP！インボイス全国一揆東京集会」もとりくまれました。

悪法は通っても、実施を強行すれば国民生活との矛盾が大きくなるのは明らか！

主催者を代表して挨拶をおこなった新婦人の米山淳子会長は、国民の暮らしが悲鳴をあげているときに医療や年金の積立金、特別会計を軍拡財源に回すなど許されない法案だと批判。選挙目当ての「少子化対策」についても財源確保は先延ばしであり「異次元のやる気のなさ」だと指摘。この間とりくんできた次世代の国会行動について、参加者が直接議員に要請し、一人ひとりの行動が社会を変えると実感し前に踏み出す大きな力になったと報告。世論調査で増税反対は8割にのぼるとし、15日の採決は許さず最後まで廃案をとたたかいぬこうとよびかけま



いま政治がやるべきことは、どんな紛争も戦争にしないための徹底した外交努力！



国会情勢を報告した日本共産党国会議員団の井上哲士参議院議員は、全国の自衛隊基地の強靱化事業での談合システムについて委員会での追及を報告。かつて防衛施設庁による官製談合で有罪となった現・元職員が役員につく『防衛基盤整備協会』で予算が通る前から一部のゼネコンと意見交換をおこなっていたとし「防衛予算の大幅増額は、こうした利権や談合、浪費をつくり出す」と指摘。福島での「ウクライナでは原発が標的にされた。反撃能力ではなく戦争そのものをやめさせなければいけない」との公述人の声を紹介し「こんな悪法の採決を許さないために明日も全力で頑張りぬく。一緒に声を上げよう」とよびかけました。

小さな声を拾い上げる政治をつくるために、これからも奮闘する！



首都圏移住労働者ユニオンの松澤秀延執行委員長は、入管難民法が 8 日の法務委員会で強行採決され 9 日本会議で可決、成立したことについて、数の力で強行し国民の声を全く無視している委員会での紛糾した採決の状況を目の当たりにし、何でも数の力で押し切ろうとする政治は問題だとつよく批判。20 年以上、難民の支援団体としてかかわってきたなかで法改正がされるたびにさらに改悪されていると指摘し、「少子化で人口が減少していくなか今後外国人がさらに増えていく。社会を改善するためにも、これからも声をあげていく」と決意を述べました。

軍拡財源法案を廃案に追い込み、危険な大軍拡・大增税路線を中止させよう！

大軍拡・大增税 NO！連絡会の衛藤浩司さん(全労連常任幹事)は、昨年 12 月に岸田内閣が閣議決定した「安保 3 文書」により、すでに具体的な戦闘の準備が始まっているとして、1、自衛隊基地の地下化・強靱化、2、南西諸島での自衛隊増強とミサイル配備、3、『防衛装備移転三原則』の運用指針見直しで殺傷能力のある武器輸出の解禁検討の 3 点を指摘。そのための財源に国民生活や医療・公衆衛生機関の資金、復興税の一部の流用と今後は消費税大增税も予想されるとし、「明日 15 日に採決が狙われている軍拡財源法案は何としても採決を阻止し廃案に追い込み、危険な大軍拡・大增税路線を中止させよう」とよびかけました。



引き続き、全国の職場・地域から「大軍拡・大增税 NO！」のうねりをつくりあげよう！

国民大運動の渡辺正道事務局長は、軍拡財源法案をめぐり、これまで衆院では 35 時間 45 分、参院では 15 日の委員会審議を含め 32 時間 5 分に達し、衆議院並みの時間を確保できたとして 15 日の委員会採決強行、16 日本会議での可決・成立が狙われており、また、立憲民主の内閣不信任決議の提出とそれに伴う国会解散について、21 日の会期末を控えたなかで野党間の神経戦も激しさを増していると述べ、最後まで法案の強行採決に反対するため委員会傍聴や委員への FAX 要請などよびかけて行動提起をおこないました。



6月19日(月)18:30～ 安保3文書撤回！軍拡増税反対！南西諸島のミサイル配備反対！改憲発議反対！暮らしをまもれ！議員会館前行動 総がかり行動/市民アクション
6月20日(火)18:30～ 軍拡増税特措法案を廃案へ！6・20行動 第2議員会館前
総がかり行動/全国市民アクション